

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・山田敬	写真・後藤
山行 NO. 1996-1		
日 時 2022年10月08日(土)曇		
山 域 愛鷹連峰・越前岳(1504m)		
コース 長泉 6:00-十里木駐車場 7:09-展望台 7:56-平坦地-越前岳 9:30~10:32(整備作業・昼食)-駐車場 12:35-B班合流-美人の湯-長泉		
標高差 上り/下り 十里木駐車場約870m~越前岳1504m=634m		
藪漕度 なし		
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい		
杭が残ったブナ植樹地手入れ		
参加者 後藤、伊藤、山田敬、山田由=4名		

今回の山行は、山の会で20年近く行っている越前岳ブナ植樹地整備が主たる目的。と、いってもまだ今春入会の私には、何をするのかよくわからないままのスタートだった。思えば三島に来た時や新幹線から眺めるだけだったころは、愛鷹山と富士山は重なって見えるので富士山の麓の辺りを愛鷹山というのかと勝手に思っていたくらいだ。



武装集団??

そして愛鷹山と富士山は別物ということが富士山に連れて行って知らせて知って、今回、初めて愛鷹山も実はいろいろな山の連峰だということを知った次第。知識や経験の有無で、同じ景色を見ていても感じることや情報量は違うと改めて実感。

今回は2班に分かれて行動することになっており、我々は十里木駐車場から越前岳に登

る。出発前に一人1本ずつ白いペンキを塗った先の尖った杭を渡され、ザックにくくりつけて、見ようによっては「武装集団」のような装備で登り始める。

富士山を背に登っていく。途中の見晴らし台からは富士山の全景が間近に見える。富士山頂は雪がない。昨日まで数日雨が降っていたので山頂の雪景色を期待したが残念。



朝、富士山は見えた

我々以外にも、どんどん人が登ってくる。景観がいいし、山頂まで1時間30分くらいでいけるので登りやすいからだろう。しかし、登山者が多いゆえに、正規のルートは土がえぐられ、そこに雨が降ると水が流れ、道は川底のようにぐちゃぐちゃになっている。

後藤さんは「完全にオーバーユースだねえ」と嘆いていたが、気づくと靴は泥だらけ。泥道は歩きにくいし、すべって危ないので、道の脇を歩くようになり、そこはそこで踏み固められて、自然が荒らされていく。

山道を固定されて、階段がつけられたりすると、とても歩きづらく嫌だが、放置したままだと山の自然が荒らされる。

後藤さんは先に行ってしまったので、下山してくる人がいる方向が山頂だと思って、登って行った。すれ違う人に我々がザックにさしている杭を見て、「それ何ですか？」と聞かれ、山頂の整備のために使うみたいです。

やったことがないのでわかりませんが、ごによごによ、と語尾を濁して説明すると、「それはご苦労様です」とか「ありがとうございます」と言われた。そういわれると悪い気はしない。調子に乗ってがんばって、無事、越前岳山頂へ9時30分到着。

山頂はガスで展望はゼロ。せっかくここから富士山を見ようと思ったのにと登頂者は残念がっていたが、我々山の会にはブナ植樹地整備の任務がある。後藤さんは我々の到着を



2001/06/01 の越前岳山頂



山頂の土も相当流失している



現在の山頂は約 50cm 低い



2022/10/08 驚異の自然治癒力



20年でここまで回復



交換した杭

待つて、ブナ植樹後の生育を山頂周辺の自然を守るために、朽ちた杭を3本抜いて2本入れ替え、ロープを張り直して境界を修繕した。

後藤さんの報告にある通り、植樹地はミツバツツジなど、物凄い繁茂で、ほぼ、かつての姿に戻ったそう。下山後に20年前の山頂の状態の写真を見せてもらったが、2000年ごろは、確かに展望がいい斜面は木がなかった。20年でこんなに自然は再生するということになり、いい勉強になった。

後藤さんが植樹地整備をしている間も、越前岳の山頂には次々と人が登ってくる。限られたスペースに人が密集して動いて、靴裏に土を持って降りていくので、山頂付近もどんどんえぐられているようで、昔に打ち込んだ境界石も数十センチ土に埋まっていた跡がむき出しになっており、後藤さんが三角点柱を触ってその説明をしていると、周りにいた人も驚いた様子で聞いていた。

4本杭を持って上がったが、2本使って、2本は持ち帰り。結局、杭は残ったが、裾野麗峰山の会の今年のブナ植樹地整備は無事終了。山を守って、山を楽しむ大切さを学ぶ、いい機会でした。



新しい杭

その他の記述（ごとう）

1. 今回、A班＝越前・ブナ植樹地整備（4名）、B班＝大沢～鋸～位牌～前岳のブナ観察。A班は3年振り。B班は恒例行事。十里木駐車場で富士のK姉御と合流し、I君を乗せて山神社に向かった。B班は飛ばして、A班が駐車場で下山すると、程なく帰着。その速さに驚愕。
2. 越前岳上り道は、相当、荒れている。このままでは、将来杞憂。某グループが「違法」で作った道は通行止めだった。しかし、仮に20年で自然が回復するなら、「違法道」を通して既存の道を「閉鎖し自然回復」も手ではないか。難しい問題だ。
3. 山頂流土は、ますます酷い。2001年から比べれば、約50cm流失した。この現実を行政や林野庁は、どのように考えるか。この状態は、今後も続くと思われる。我々、自然保護団体も見て見ぬふりでなく、声を上げなければならない。
4. 帰路、美人の湯に入ったが入湯税が150ー。Yちゃんが調査した結果、裾野市が以前負担していた150ーを、市は財政困難を理由に利用者に負担させた結果と判明。



NO.10 ブナ

前回、2019年140cmだったが今回、約2mに成長した



A班メンバー